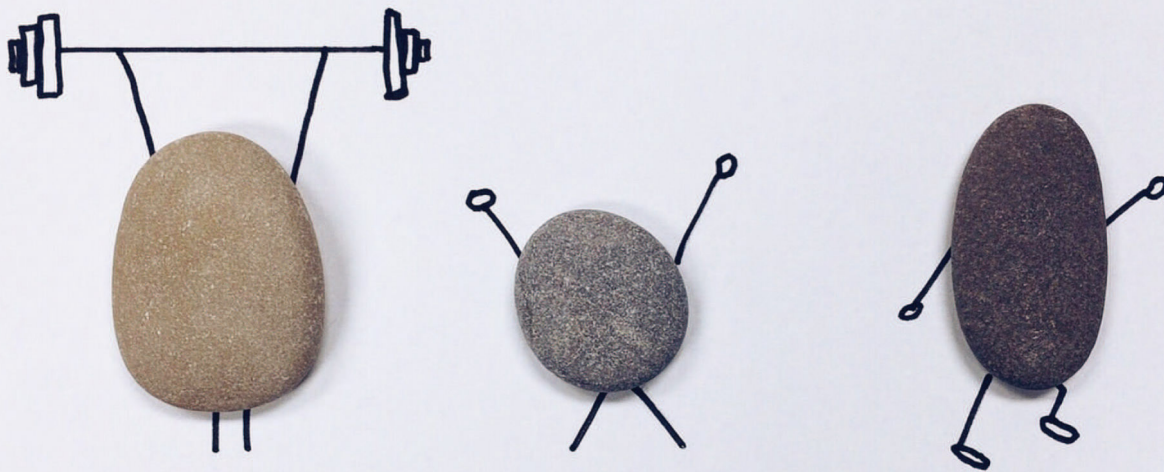




ふくしま30年プロジェクト

## ふくしまくらす交流会

# 第三回 子どものからだを考える～自然治癒力、免疫を中心に～



わたしたちの腸内には様々な細菌がいて、その数は約100兆個もあり、それらの細菌の集まりは、腸内細菌叢（そう）と呼ばれています。その腸内の細菌が、人にとって、生まれたときからの免疫を担っているのではないかとされています。

また、自然治癒力とは、人間・動物などの心身全体が生まれながらにして持っている、ケガや病気を治す力・機能を広くまとめて指す言葉です。しかし、抗生物質の処方やしすぎが自然治癒力の一つである腸内細菌叢（そう）の乱れを起し、免疫に影響を与えている可能性がある。この、現代医療が抱える矛盾について、健全な子どもの育成を主眼に山田真氏にお話ししていただきます。

2018年2月25日（日）13:30～

サンライフ福島 和室 福島市北矢野目檀ノ腰6番地の16

参加費 無料（要事前申込）



講師：山田真氏

（小児科医、子どもを放射能から守る全国小児科医ネットワーク代表）

略歴：1941年、岐阜県生まれ。小児科医。八王子中央診療所理事長。子どもの病気をわかりやすく解説する著書で知られるが、障害のある子をもつ親の当事者として「障害児を普通学校へ・全国連絡会」世話人を務めるなど、さまざまな活動、意思表明を行ってきた。

2011年以降は、「放射能から子どもたちを守る全国小児科医ネットワーク」代表として、福島をはじめとして各地で健康相談を受けている。

申込フォーム [http://fukushima-30year-project.org/?page\\_id=2001](http://fukushima-30year-project.org/?page_id=2001)

※お申し込みは TEL024-573-5697または「ふくしま30年プロジェクト」サイトのふくしまくらす交流会申込専用フォームからお早めにお申し込みください。

主催・問い合わせ 認定NPO法人 ふくしま30年プロジェクト 福島市南矢野目字夜梨4-1 電話024-573-5697

この事業は、「一食（いちじき）福島復興・被災者支援事業」の助成を活用しています。